

市民ワークショップを実施しました

”みんなで考えよう！”

成田ニュータウンの新しい複合施設”



成田市では、成田ニュータウンの赤坂センター地区における中央公民館と図書館の建て替えを含む複合施設整備に向け、準備を進めています。2025年12月、市民の皆さまからの意見を計画に反映することを目的に、第3回目となる市民ワークショップを開催しました。当日は、施設を日頃から利用している方々に加え、これまで利用機会の少なかった方にも参加いただき、将来の成田ニュータウンの新たな顔となる複合施設に求める機能や空間について、幅広い意見をいただきました。

日時

2025年12月14日(日) 10:00~12:00

場所

赤坂ふれあいセンター 大会議室



当日の流れ

- 10:00 ● 開会
整備計画概要の説明
- 10:15 ● グループワーク前半
現状の課題から考える
「新しい施設のあり方」
- 11:05 ● 休憩
- 11:15 ● グループワーク後半
未来を描く
「活動が広がる空間・設備」
- 11:45 ● 各チーム発表
「いいね」シールで投票
- 11:55 ● 終了のご挨拶
- 12:00 ● 閉会

話し合った内容・
ご意見は裏面で紹介

計25名ご参加

所属サークル等の属性に合わせ、
5チームに分かれ意見を交換しました。



和やかな雰囲気のもと、積極的に意見
を交わす参加者の皆さま



各自の考えを書いた付箋がどんどん
模造紙に貼られていきます



話し合った内容を、チームごとに発表
して、全体に共有します



最後は、特に賛同する意見に「いいね」
シールを貼って投票

グループワークでいただいた主なご意見



前半テーマ

現状の課題から考える「新しい施設のあり方」

予約方法や利用ルールが分かりにくい。オンラインで完結し当日利用や個人利用もしやすくしてほしい。

活動内容と部屋の規模・用途が合わず、限られた部屋に予約が集中している。状況に応じて使い分けられるようにできないか。

ICT環境が不十分。Wi-Fiやプロジェクターなどの基本設備は活動に不可欠。

高齢者や身体の不自由な人の移動がスムーズではない。バリアフリー設計の強化を。



子どもや中高生、若者が利用しづらい空気感がある。世代を問わず気軽に過ごせる居場所づくりが大切。

音漏れや音響が気になる。防音性・音響性に配慮した専用空間やホールの整備を。

荷物置き場やロッカーが不足。安心して使える保管スペースがほしい。

駐車場や送迎、施設間移動など、アクセス全体を改善してほしい。

後半テーマ

未来を描く「活動が広がる空間・設備」

動きのある空間(活動・発表系)

- ・パーティションで仕切るなど、人数に応じて使い分けられる可変性の高い空間
- ・コンサートや発表会ができる中～大規模ホール
- ・子どもが思いきり体を動かせる広い屋内空間
- ・鏡張りでダンスや身体表現に適した部屋
- ・舞台裏や搬入口を備えた、使い勝手のよい発表空間
- ・音楽やダンスなどが行える音環境の整備

静かな空間(学習・読書・集中系)

- ・防音性が確保された、集中しやすい自習室
- ・個室または半個室の学習・作業ブース
- ・中高生が放課後に利用しやすい学習スペース
- ・Wi-Fi環境・電源を備えた大人のためのコワーキングスペース
- ・オンライン会議や配信にも使える静かな部屋
- ・落ち着いた空間を確保できるよう、他の活動と明確に住み分けたゾーニング

交流・滞在の空間

- ・気軽に軽食がとれるカフェ
- ・年齢や世代を超えた交流が生まれるオープンスペース
- ・展示や情報発信ができるギャラリー空間
- ・子ども連れでも利用しやすい開放的な空間
- ・地域活性化につながる、屋外交流スペース
- ・飲食や会話ができる喫茶店のような図書館
- ・目的がなくても立ち寄り、滞在できる居場所

サポート・管理系

- ・完全バリアフリーで分かりやすい動線
- ・活動中に子どもを預けられる託児機能
- ・不登校の子どもにとって日中の居場所となるような申請不要の空間
- ・活動内容に応じて公平に使える備品置き場や共用収納
- ・独自の巡回バスなどアクセスを支える機能
- ・市民活動を支援してくれるサポートセンター

今後に向けて

今回のワークショップにご参加いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。今回いただいた多様なご意見は、今後の複合施設整備に向けた基本構想の検討に活かし、より使いやすく親しまれる施設づくりにつなげていきます。

